

琉球大学学術リポジトリ

鶏糞の利用

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-05-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 松田, 祐一, Matsuda, Yuichi メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/19856

鶏糞の利用

昨年急激に上昇した養鶏熱は、今年の卵価安に

禍いされて、いくらかきめてきているように見受けられます。鶏は殖やしたり、減らしたりすることが容易であるため、卵価高で儲かりそうであれば、直ちに羽数を殖やし、卵価安と見れば羽数を減らすと言うように伸縮が自由であります。一昨

年以來、卵価高で養鶏が儲かりそうだったので日本本土に於ける昨年の飼養羽数は、戦前戦後を通じて最高の五千五百万羽を越す程の大増加となり今年

の卵価安の原因となつたと考えられます。沖繩の卵価は、日本本土の卵価の影響を受け易いので、今年

は、沖繩でも卵価安で、養鶏家も、こんな筈ではなかつたがと、考えこんでいるわけですが、

卵価安、飼料高の此の危機を乗り越えるために、多くの養鶏家が、苦しさに耐えていることと考えますが、私達が、将来もつと認識を深めなければいけないと思われ

るのは、養鶏の副生産物である鶏糞であります。

1、鶏糞の生産量

生産量や肥料成分等について調べてみました。鶏糞の生産量は、鶏の品種、飼料の種類、給与量等によつても相違がありますが、農林省畜産試験場成績要報によると次のようであります。

種類 体量 飼料摂取量 生糞 風乾物

卵用種 一、九瓦 一一七、五瓦 一七五瓦 四九瓦
兼用種 二、七 二二五、三 二二三 五八

一ヶ年に出す糞の量は、白色レグホーンで、生糞なら一〇〇斤、乾燥して三〇斤と言うことになりました。

2、鶏糞の組成

鶏糞の組成も、品種、年令により又給与した飼料により、産卵鶏か、そうでないかにより違いますが次の例があります。

水分	窒素	磷酸	加里
%	%	%	%

生糞 六八、三 一、四七、〇、七一 〇、四
乾糞 九、五 四、二二 二、〇四 一、四
乾燥した糞は、窒素が四、二%、磷酸が二%、加里が一、四%も含まれ、一種の配合肥料とも言うべきもので、尚、鶏糞には、有機物五〇%内外、石

灰四%を含み、沖繩のように、亜熱帯で雨が多く土壌有機物が少なくなり勝ちな処では特にすぐれた肥料と言えます。

3、鶏糞の取扱法

鶏糞は、肥料成分の濃厚な肥料でありすが之が取扱ひ法を誤ると肥料成分が減少したり、作物の発育を却つて害することがあります。畜産試験場の成績では、鶏糞を風乾したものが、もつとも肥料成分の逸散が少なく、又貯蔵、販売にも便利であります。太陽の直射を当てて乾燥すると、乾燥時間は短い

が、窒素の逸散が多いと言われます。理想を言えば、風乾した鶏糞は、飼料の空袋等につめて貯えておいて、自家で利用したり、販売に

共します。乾燥台は、一〇〇羽程度の羽数の場合は巾三尺、長さ六尺、高さ五尺程度にして、五段位を有するもので充分であります。普通の乾燥台の場合には地下一尺位の所から約五七寸位の間隔で棚を設け、此の上に糞または竹の子のせて鶏糞を一十位の厚さにのせて風乾させます。乾燥台

は鶏舎に近く日当り、通風のよい所に設置します。今、沖繩では一ヶ年に一億二千万円の卵と一億円の飼料が輸入されて居ます。我々は大いに卵を生産し飼料を生産し、又鶏糞の利用を計ることによつて養鶏の利益を増進すると共に、国土を肥沃に致しましょう。

(松田 祐一)